

令和4年第4回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症の市の現状について」申し上げます。

市内の感染状況については、1週間ごとの感染者数の推移をみると、10月中旬から増加傾向に転じており、10月13日の週が1日あたり14人だったところが、11月10日の週には1日あたり34人まで増えてきております。

新型コロナウイルス感染症の陽性者数が過去最高となった「第7波」では、発熱外来が逼迫し、受診できない多くの市民から、市に、相談や問い合わせなど、不安な声が相次いで寄せられました。このようなところから、感染拡大の際、発熱外来が逼迫している期間において、市内医療機関が休診日や時間外に臨時の発熱外来を行った場合に、新たに支援金を交付することとし、先の臨時議会で補正予算の議決をいただいたところでございます。感染拡大時には、発熱外来の逼迫を少しでも緩和させ、市民が発熱時に医療機関を受診できるよう機会を確保してまいります。

また、ワクチン接種については、10月22日以降、従来株とBA4型・BA5型のオミクロン株に対応した2価ワクチンの接種を始めております。

感染拡大の「第8波」への備えとともに、本格的な冬を前に、インフルエンザの流行の可能性も視野に入れた対策が必要となっています。インフルエンザワクチン接種と合わせて、市民の皆様がワクチンの接種ができるよう、引き続き、医療機関と協力、連携を進めてまいります。

次に、「アデコ株式会社及び株式会社プリマジェストとの包括連携協定の締結について」申し上げます。

市は、11月17日にアデコ株式会社及び株式会社プリマジェストの二者と、地域の活性化及び市民サービスの向上を図るため、包括連携協定を締結しました。

この協定により、職員研修など人材育成に係る取組みが強化されるほか、デジタル技術等を活用した地域コミュニティ支援や市の業務の効率化に向けた取組みがいっそう推進されるものとなります。

これまでに、市は、「事業連携及び連携協定に関する基本方針」を定め、市内郵便局、大塚製薬株式会社など、7者とそれぞれ包括連携協定を締結し、福祉や健康増進、産業振興、SDGsの推進などにおいて、民間事業者との協働を進めてまいりました。このたびの、二者との包括連携協定の締結により、それぞれが持つ専門的な知見等の相乗効果も期待されるところであり、

さらなる市民サービスの向上を図るため、引き続き、官民連携を進め、豊かで持続可能なまちづくりの実現に向け、取組みを進めてまいります。

次に、「公共施設等への再生可能エネルギー設備の導入について」申し上げます。

私は、本年2月の議会定例会において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けてチャレンジすることを表明しました。この「ゼロカーボンシティ」達成に向け、市の事務・事業における温室効果ガス排出量削減を目指し、市役所の本庁舎・東庁舎・保健福祉センターに太陽光発電パネルを設置することといたします。市が、率先して取組を進めることにより、市民や事業者の省エネルギー行動への取組みを促すとともに、停電時の電力がさらに確保できることから、災害対策本部となる庁舎の防災力の強化につながるものと考えております。

なお、設置への手法は、国の補助対象となり、かつ、電気事業者が設置・管理をおこなうP P A制度を活用するものとし、令和5年度に本庁舎と東庁舎へ、令和6年度には屋根防水改修が完了する保健福祉センターへ設置いたします。その他の公共施設等につきましては、財政状況や施設の改修計画等を踏まえ、導入を検討してまいります。

本年、4月に策定した「白井市第3次環境基本計画」及び「白井市第5次地球温暖化対策 実行計画（事務事業編）」には、省エネルギー機器等の導入や脱炭素化に向けた市民や事業者の意識の醸成に向けた実践的な取組みが示されております。

地球温暖化への対策は待ったなしの状況にあり、本市としましても「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、引き続き、市民、事業者の皆様、そして行政が一体となり、オール白井で積極的に取組みを進めてまいります。

最後に、「白井市成人式の新名称について」申し上げます。

市では、20歳になる方を対象に、毎年1月に「成人式」を開催していましたが、令和4年4月1日より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことから、アンケートを実施し、その結果をもとに、今後も20歳の方を対象とした式典を開催することとしております。

式典開催にあたり、従来、式典で使用している「成人式」の名称が実情にそぐわなくなるため、新たな名称を市内在住、在勤、在学の方から募集し、53件の応募をいただいたところでございます。いただいた意見をもとに、市教育委員会において検討し、「成人式」に代わる新たな名称を、「梨光式～はたちの つどい～」に決定をいたしました。なお、この名称には「白井の梨のように健やかに育った20歳の方々に、さらに光り輝く人生を歩んでほしい」という願いを込めたものでございます。

20歳の節目にあたり、来年、令和5年1月8日の式典からは、この白井ならではの名称により、ふるさと白井への思いを新たにさせていただく契機となるよう、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、式典を開催してまいります。

以上で諸般の報告を終わります。